



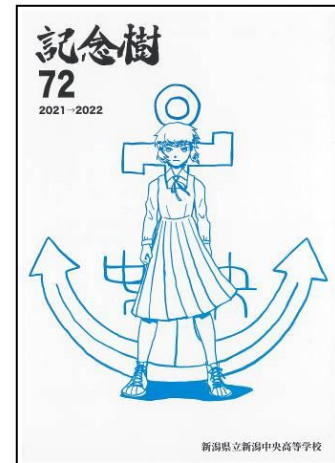
新潟県立新潟中央高等学校

新潟中央高等学校の生徒会活動と部活動の紹介をします。

1 生徒会の紹介

【令和4年度 主な生徒会行事予定】

- 4月 入学式、対面式、新入生歓迎会・クラブ紹介、前期各種委員会・評議員会、生徒総会、壮行式、前期 HR 役員認証式、部活動登録
- 5月 生徒総会、生徒朝会、生徒会執行部後期役員選挙、中央祭選手選出・準備、
- 6月 中央祭オリエンテーション、中央祭予行、中央祭（体育祭）、生徒朝会（生徒会執行部後期役員認証式）
- 7月 秋桜祭クラス討議、壮行式
- 8月 壮行式
- 9月 秋桜祭クラス活動、秋桜祭準備、秋桜祭（文化祭）
- 10月 芸術鑑賞会（演劇）
- 11月 生徒朝会、生徒会執行部前期役員選挙
- 12月 壮行式
- 1月 豆まき大会
- 2月 生徒朝会
- 3月 球技大会、生徒会誌記念樹発行



生徒会誌「記念樹」

【生徒会からのメッセージ】

校門から、通称「乙女坂」という坂を登った先にあるのは、歴史を感じさせる校舎。それが私の通う新潟中央高校です。

私は新潟中央高校に入学して、すぐに生徒会執行部に入りました。執行部では忙しいことや、辛いこともあります。活動をとおして多くのことを経験し、学ぶことができます。また、執行部の主な仕事の一つに学校行事の運営があります。

新潟中央高校には特色ある学校行事がいくつかあります。その中でも特に大きな行事が体育祭である「中央祭」です。中央祭は生徒だけでなく、保護者、地域の方々も楽しみにしてくださっている行事です。連合が一つになって行うスタンド応援に、テーマに合わせて一から作り上げられた、見る人を魅了するグラウンド応援、細部まで工夫が凝らされた衣装、生徒たちによって描かれる迫力あるパネルなど、沢山の見所があります。

また、「秋桜祭（しゅうおうさい）」という名の文化祭では、クラスや部活動による楽しい展示や発表があります。食物科によるマドレーヌ販売や音楽科による演奏など、その盛り上がりはまるでライブ会場にいるかのように熱気に満ち溢れています。他にも豆まき大会や球技大会など面白い生徒会行事が沢山あります。

また、新潟中央高校は部活動も盛んに行われています。13の運動部、24の文化部の計37の部活動があり、その中でもバスケットボール、ダンス、バレーボール、登山、剣道、コーラス、器楽・管弦楽、箏曲、鈴かけ新聞、演劇、地学、生物などの部活動は、全国大会や北信越大会に出場して活躍しています。

このように新潟中央高校には沢山の魅力があります。この学校に入学して私は多くの友人ができ、自分の進路目標達成の達成を目指して、とても充実した日々を送っています。

2 部活動の紹介

【部活動の活動状況】※

文化部 23、運動部 12 の部活動があり、加入率は 7 割以上です。

令和 3 年度は、地学部、コーラス部、器楽・管弦楽部、箏曲部、鈴かけ新聞部の 5 団体が、新潟県代表として、全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文 2021」に出場しました。

運動部では、バスケットボール部が全国高等学校総合体育大会（インターハイ）「北信越総体 2021」、全国高等学校バスケットボール選手権大会ウインターカップ 2021 に出場、バレーボール部は、全日本高等学校選手権県大会で準優勝。また、陸上競技部が北信越大会出場を果たしました。ダンス部は、全日本高校・大学ダンスフェスティバルに入選しました。



「本校の制服」

【鈴かけ新聞部による本校の特徴】



**みなさん初めまして！新潟中央高校鈴かけ新聞部です！
今回は、本校の特徴について、私たちの経験談などもまじえつつ、
紹介します。**

※写真については、令和元年度以前のものが含まれています。

<中央祭>

体育祭である中央祭は、中央高校の最大行事です。近年は、コロナ禍のため、中止や無観客となりましたが、例年は、来場者数が 3,000 人を超える伝統行事です。4 連合に分かれて、競技、パネル、応援、衣装、フラインプレーの部で競い合い、1 位の連合には、あんパンとメロンパンが贈られます。

中央祭いちばんの見所は、何と言っても、スタンド席後方に設置されるペニヤ版 45 枚分の大きさのパネルと見る人を魅了するグラウンド応援です。グラウンド応援は、それぞれの連合のテーマに合わせたダンスが制限時間 5 分間で披露されます。それぞれの連合の工夫を凝らした衣装も見逃せません。各連合のテーマに合わせ、色やデザインを考えた衣装は毎年ため息が出るほどの華麗さです。

各連合での応援練習は、早朝から夕方遅くまで行うためハードですが、本番でやり遂げた時、他では味わうことのできない達成感を得られます。また、練習をする中で、クラス・連合の絆が生まれま

す。そして、それは今後の私たちの学校生活へのエネルギーとなるでしょう。



<秋桜祭>



中央祭と並ぶ新潟中央高校のもう 1 つのイベント、秋桜祭とは、本校の文化祭です。例年、全校生徒の前で劇やダンスなどを発表するステージ発表や、教室でクラスの発表などをする展示が行われている。秋桜祭の最後に、発表・展示部門の最優秀・優秀クラスが発表されます。

また、ダンス部のステージ発表や、書道部の書道パフォーマンスなどのように、クラスとは別に発表や展示をする部活動もあります。

食物科も毎年、大盛況です。毎年、マドレーヌやブラウニーなどの手作りの焼き菓子販売が大人気です。廊下は毎年長蛇の列で、すぐに完売するほどの人気です。

音楽科も目玉のひとつです。音楽ホールでのコンサートは同じ高校生と思えないほどのレベルの高さです。

近年はコロナ禍で、メモリアル秋桜祭という縮小された形で行っていますが、そんななかでも思いきり楽しんでほしいです！食物科も毎年、大盛況です。クラスごとに劇などのステージ発表やクラス展示を行い、最優秀・優秀賞を決めますが、どのクラスの発表や展示も熱いエネルギーが感じられます。ステージ発表では各々がペンライトを持ち込み、拍手や声援でその場の雰囲気をもさらに盛り上げます。



<スキー授業>



本校伝統の体育の授業といえばスキー授業。本校では1月に1年生全員が2泊3日でスキー合宿に行きます。

まず驚くのは、事前の体育の授業で、体育館でスキー板を履いて練習することです。スキー靴の履き方、ゲレンデで転んだ時の立ち上がり方などスキーの基本の基本を学んでから実際にスキー場に行くのです。

スキー合宿と聞くと、スキーをしたことがない人は不安に思うこともあるかもしれません。しかし、ほぼ毎年、1年生の大多数がスキー初心者なのです。そんななかでも、

最終日にはみんなが楽しくスキーをすることができます。スキーを滑るだけでなく、ホテル前で雪だるまを作ったり、勉強をしたりと各々が楽しい時間を過ごします。普段の学校生活ではクラス内、学科内のみの交流がほとんどですが、合宿中はクラス、学科の垣根を超えてお互いを助け合う場面が多いため、他クラス、他学科との交流も盛んになります。

コロナ禍でもあり、令和2年度、令和3年度の1年生はスキー授業に行くことができませんでした。今年度こそ楽しくスキーをする中央生の姿が見られるかもしれません。雪国新潟ならではの貴重な授業であるので、スキーをしたことのない人にとっても、高校生活最高の思い出の一つになるでしょう。

<靴について>

本校は校内土足OKという珍しい学校です。その始まりは第15代山宮作一校長先生のアメリカ視察だったそうです。アメリカでは校内土足が慣習であることに衝撃を受けた校長先生は、当時、本校は生徒数が増え、下駄箱を並べる場所を確保できずにいた解決策としても、中央高校は校内土足OKになったといわれています。

しかし、土足であるがゆえに困ったことも。内履きのまま気が付いたら白山駅…。そんな恥ずかしい失敗を経験した生徒も少なくないのだとか。これを読んだ皆さんは、外履きに履き替えたかをきちんと確認して帰ることが大切です。



「生徒朝会」

<テストについて>

本校の主なテストは、SHR時に行う学習到達度確認問題・定期考査・模擬試験・授業内の小テストなどです。不合格の場合、不合格課題の提出や昼休みや放課後に補習があるので全力で取り組むことが大切です。私たち鈴かけ新聞部員も放課後の古典の小テストの追試に苦しめられた(?)経験が数えられない程…。もしも勉強方法が分からない時には教科担任の先生や担任の先生に相談してみるのはいかがでしょうか。きっと理解が深まる勉強方法を教えてくださいます。通学時間などの隙間時間を利用して勉強時間を確保してみるのはいかがでしょうか。定期考査はじめ、小テストとも上手く付き合い、活用しながら高校生活を楽しんでほしいです。

<部活動について>



本校には、12の運動部と23の文化部があり、多くの部活動が華々しい成績を残しています。1年生は部活動への参加が必須となっているため、全員が何かしらの部に入部しなければなりません。部活動には参加したくない、入りたい部がない、と思っている人もいるかもしれませんが、それぞれの考えに合う部が必ず見つかりますから大丈夫です。なぜなら、大会で上位を目指す部はもちろん存在しますが、みんなで楽しむことを主眼としている部も存在しているからです。入学して間もなく新入生歓迎会があり、そこで各部が活動紹介を行います。その後、一週間部活動見学で好きな部活を見に行くことができます。ぜひ、1年生には自分にあった部活を見つけてほしいです。

いかがでしたでしょうか。読んでくださったみなさんに、本校の魅力が伝わっていれば幸いです。以上、鈴かけ新聞部でした！